

展示紹介映像

京都大学百二十五年史、百年史を編纂された 西山先生に聞いてみた!

46分46秒 / 2022年制作

出演：西山伸(京都大学文学書館 教授)

塩瀬隆之(京都大学総合博物館 准教授)



125周年展のなかでも大切な展示資料の一つが長い長い年表。125年の歴史ですので、京都大学総合博物館はじめて以来初の試み、展示室の壁2面をふんだんにつかったロングロング年表。そして、意外と知らない年表の作り方についてインタビューしてみました。

「年表、めっちゃ長かったけど、そもそも一行一行どうやってかくこと決めてるの?」とか、「125周年展って中途半端じゃない?もっとキリのいい数字にしたらよくない?」とか、「組織図めっちゃ複雑だけど、正直どこ書き忘れてたら怒られませんか?」とか、「自由の学風、とか言われてますけど、それってそもそも京都大学自身は自分で言うてるん?」とか、ほんとは気になってたけど、もやっとしてたこといっぱい残ってるはず。そこで、生き字引のように詳しい先生、京都大学について京都大学で一番くわしい方で、今回の創立125周年記念史編纂の監修をおつとめになった京都大学文学書館 西山伸教授にお話をうかがいました。

<https://youtu.be/GbDJnPfUHvs>



総合博物館「創造と越境の125年」展示解説

26分30秒 / 2022年制作

出演：塩瀬隆之(京都大学総合博物館 准教授)



「京都まで展示を観に行こうと思ったら知らない間に終わってるじゃないか」「期間中に展示は観に行けなかったけどやっぱり気になるから観たい」「京都で展示は観たけどもう忘れつつある」などなど、そんな知らんがなといいたくなる気持ちを抑え、それでも展示がどんなのだったか知りたいというリクエストにお応えするべく、展示解説動画を撮影してもらいました! 26分間で京都大学創立125周年展のすべてがわかる展示解説アーカイブです。

<https://youtu.be/tLVSJu-4dkI>



おわりに

本展では、ノーベル賞やフィールズ賞のような著名な研究成果についてはあらためて取り上げていません。もちろんそのような科学的に重要な功績に京都大学の研究成果が結びついたことは大変光栄なことですが、すでに広く皆さんにご承知いただいている研究成果以外にも、膨大な学術研究分野が星の数ほどあること、またそれぞれの分野で献身した探究者一人一人が数えきれない年月とエネルギーを注いできた学問的探究について、ぜひ幅広く知っていただけるような機会にしたいと考えました。

会期中の観覧者の中に、京都大学の研究者を「やりたいことしかできないという才能にあふれた人々」と称してくださった方がいました。展示監修者としては、まさにその才能にあふれた探究者の125年の記憶を追体験いただけるような展示にしたいと企図しました。また、京都大学に集まった学生、教員、職員らがこだわってきた京都大学らしさ、その一つ一つが創造と越境とに結び付いてきたであろう京都大学の125年を凝縮した展示となることを目指しました。創立150周年、200周年といった周年の折にも同じように創造と越境に明け暮れる探究者とこだわる人であふれる京都大学であり続けることを期待して、本企画展示の記録集を綴じたいと思います。

